

2022年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 サービス評価表

1. 事業所情報

事業所番号	1493500175	事業開始年月日	平成24年10月1日
法人名	株式会社フルライフ		
事業所名	フルライフ本郷台		
事業所所在地	(247-0014)		
	横浜栄区公田町596-7橋本ビル201		
電話番号	045-890-4322	FAX番号	045-893-9916
施設等の区分	連携型	サービス提供地域	栄区
自己評価作成日	令和5年3月22日		

3. 法人・事業所の特徴

法人の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着した活動 ・24時間365日対応 ・在宅介護中心の事業運営
事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問系3サービス(定期巡回・随時訪問型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、訪問介護)と居宅介護支援サービスを中心に地域の医療・福祉の事業者と連携してご利用者一人一人の為のサービスを提供している

2. 介護・医療連携推進会議

介護・医療連携推進会議への公表日	令和5年3月22日
開催場所	書面会議

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント	
			実施状況					
			できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価 (Structure) 【適切な事業運営】								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				福祉社会の“充実”に寄与する事を考えたサービスを心掛けている。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				福祉社会の“充実”に寄与する事を考えたサービスを心掛けている。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			新型コロナウイルス蔓延の為、状況を鑑みて、社外研修については状況をみて参加。 内部研修についてはeラーニング等を活用	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			・初回のサービス時には、必ずスタッフがヘルパーと同行し訪問を行なっている。 ・ご利用者毎にスタッフが担当し緊急時にも迅速に対応している。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
	5	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保		○			日々の情報交換以外にもアセスメントの同行。担当者会議の出席など積極的に情報共有を行なっている。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			・スタッフはオペレーター資格を保有し、24時間を通してオペレーター・随時訪問員を配置している。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を随時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			・6ヶ月に1回開催。(コロナの影響により書面での開催) ・サービスの過少供給の実績はありません。 ・頂いた要望(緊急コールのデータの公表、困難事例の発表等)を次回以降反映している。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			オペレーションシステムや個人ファイルは適宜更新し職員間で情報共有を図っている。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			・セコム安否確認システムを利用。 ・防犯ブザーの活用 ・事故対応マニュアル ・災害時対応マニュアル等	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			個人情報保護基本規定・プライバシー保護マニュアルに基づき ・パソコン、オペレーションシステムはパスワードで管理。 ・紙ベースの書類はマスキングを徹底。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			生活リズムを確認し、身体面・生活面での目標を提案している	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			可能な時は看護の訪問に合わせ、同行を行なう。 難しい時は看護からのアセスメント報告を共有できるようにしている。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
利用者等の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者等の心身の機能の維持回復に軸を置いた計画の作成が志向されている		○			その日の体調の変化に合わせて、活動可能な範囲が広がるように常に検討を行なうようにしている	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者等の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			身体状況・日々の変化を把握する事で、今後起こりうる状態の変化を予測し、環境整備の提案や、リスク管理を行なうようにしている	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			体調不良時や、状態の悪化時等、必要に応じた訪問時間や回数の提案を行ない、柔軟に対応を行なうようにしている	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			訪問者からの報告を、きめ細かく理解をするように努めている	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○			迅速に、的確な報告が行なえるよう、情報共有を行なっている	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント	
			実施状況					コメント
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				日々の報告・連絡・連絡を怠らないようにし、アセスメントコメント欄などを細かく確認を行なう	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント
			実施状況				
			できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない	
(4) 利用者等との情報及び意識の共有							
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○			依頼時よりケアマネジャーを通じサービス内容を理解していただき、契約時に重要事項説明等で詳細に説明。契約後も適宜ご説明を行なっている。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○			計画作成責任者が計画書を作成し、説明の上交付。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○			電話、FAX、メール等活用の出来るものを状況に応じて迅速に使用し報告・相談が行えるよう心掛けている	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント							
(1) 共同ケアマネジメントの実践							
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に関する情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○			アセスメントやモニタリングを適時実施し、報告の上検討している。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	○				① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○			サービス担当者会議の場だけでなく、日々の様子変化についても関係職種へ適時、連絡・報告を行っている。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献							
利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	○			様々な報告の形式を考え、担当者会議等、書面で報告が行えるようにしている	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○			コロナの影響で、会議開催が難しい事が多いが、サービス開始前であっても病院・施設のカンファには積極的に出席し、情報共有に努めている。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	○			サービス担当者会議出席(書面報告等含む)	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○			コロナウイルスの影響で、会議開催が行えていないが、書面で交付を実施。事業所内で、議事録が閲覧出来る様にしている・ホームページ等での開示は行っていない。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	○			会議開催が行えなかったが、地域の医療関係者、ケアマネジャー、民生委員等へ当該サービスの概要を説明できるように心掛けている	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
(2) まちづくりへの参画							
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	○			全スタッフ当該サービス意義の理解に努める	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○			栄区及び近隣地域でも必要に応じサービス提供を心掛けている。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)	○			来期に向け、行政・包括・地域の方に意見を頂き情報を共有し、インフォーマルサービスを発展させていく	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
Ⅲ 結果評価 (Outcome)							
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○			計画作成→達成度の確認を何度も繰り返し、状態に合わせた計画目標の確認になっているか、繰り返し確認を行ない、達成状況の把握をするようにしている。	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○			状態に合わせた訪問と、24時間連絡の取れる体制がある事で安心して在宅での生活が継続出来るよう心掛けている	① 出来ている ② 概ね出来ている ③ 改善が必要